

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|--------------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス あおぞら | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 6 年 10 月 5 日 | | ～ 令和 6 年 11 月 30 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 33 | (回答者数) 31 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 6 年 10 月 5 日 | | ～ 令和 6 年 11 月 30 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7 年 2 月 25 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 子ども・保護者があおぞらを安心して利用できている。 | 職員一人一人が子どもへの丁寧な支援を心がけている。 お帳面やお電話、送迎時などに保護者とやりとりを行っている。 | ご家庭と協力した子どもへの支援、情報共有、研修会等の提供を行う。また、園などの関係機関との連携も引き続き行うことで、子ども・保護者が安心して利用できる事業所運営を行う。 |
| 2 | ・事業所内研修会の開催や外部講師による定期的(月1回)な療育指導の機会を確保している。 ・心理士や理学療法士が配置されている。 | ・研修会の開催や指導の機会の確保はしているが、十分に活かしきれていない部分もあるため、工夫の余地あり。 ・心理士や理学療法士による観察や評価、個別支援の機会がある。 | ・事業所内研修会の開催、外部研修会への積極的な参加を通して、支援の質向上を図る。 ・心理士や理学療法士とのさらなる連携の体制を検討していく。 |
| 3 | 子ども・保護者支援や、関係機関との連携を行っている。 | 子育て相談会(年2回)、利用者個別面談(年2回)、就学前相談会(年2回)などを実施している。法人内の病院のリハビリテーション医やリハビリ専門職との連携も図っている。 | 保護者向けの研修会や、地域の支援者向けの研修会等を法人および事業所で企画・開催して、さらに子ども・保護者支援や関係機関との連携を強化していく。 また、既に実施している取り組みの内容の見直し、改善を図っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | (非常時等の対応の面) ・各種マニュアル等に関する保護者への周知、説明の不足。 ・法令研修会等の年間計画の作成、計画に沿った実施がなされていない。 ・ヒヤリハット体制の不備、不十分さ。 | ・各種マニュアルの見直し等がなされていない。保護者への周知方法が検討されていない。 ・法令研修会等の計画が作成されていない。 ・ヒヤリハット事例の共有等はあったが、不十分。ヒヤリハット体制が構築されていない。 | ・各種マニュアルの見直し、修正。保護者への周知手段の検討。 ・法令研修会等の年間計画の作成、計画に沿った実施の遵守。 ・ヒヤリハット体制の構築、強化。 |
| 2 | (適切な支援の提供の面) 活動立案、打ち合わせ、振り返り、支援計画書作成などが不十分。 | ・左記を実施する体制づくりがなされていない。 | ・体制を構築し、チームで取り組んでいけるように実施していく。実施していきながら、改良・改善を図っていく。 |
| 3 | (業務改善の面) 職員間での情報共有、連携の不足 | ・朝礼や全体ミーティングの機会はあるが、連絡事項の周知が主。 ・全体ミーティングの機会が少ない。 ・情報共有の手段が不十分。 | ・ミーティングの機会を増やし(週1回+月1回の実施)、連絡事項の周知だけでなく、全体で事案の検討も行っていく。 ・ノートやホワイトボードなどを用いて、情報伝達、情報共有を確実にやっていく。 |